

全国大会出場者表敬訪問

全国大会に出場、または出場を前に市長を表敬訪問した皆さんを紹介します。(敬称略)

6月23日

第14回全国シニア(50歳以上)サッカー大会(静岡県)

アルフット安曇野シニア

選手代表 伊藤雅文、西澤澄雄



表敬訪問したアルフット安曇野シニアの皆さん

7月2日

第32回全国小学生ソフトテニス大会(富山県)
大鷹颯矢、羽田翼、堺千花(穂高南小) 白井琥珀、寺島風慧、平川優里愛(穂高北小)

第15回全日本少年少女空手道選手権大会(東京都)
佐々木香菜子(豊科南小) 斉藤あかり(穂高西小)、高山穂乃花(山形村山形小) 清水和玖(松本市島内小)

第23回全国中学生空手道選手権大会(香川県)
青木里奈、矢島萌唯奈、山越星(明科中)

2015さわやか全日本一輪車競技大会(東京都)
高橋遥花(松商学園高) 高橋悠里(三郷中)



表敬訪問した皆さん

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定に向け 有識者会議始まる

人口減少対策や地域活性化策などをまとめる「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向け、第1回有識者会議が7月2日、市役所で行われました。

当日は、学識経験者や企業、市区長会などから選出された委員に宮澤市長から委嘱書が手渡されました。会議では、会長に木村晴壽さん(松本大学総合経

営学部教授)が選ばれた後、市の出生率向上をテーマに人口増を図るための課題などについて意見交換しました。

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は法律に基づき、国・県・市町村ごとに、雇用創出や人口増対策、まちづくりなどの目標や計画を定めるものです。

宮澤市長はいさつで「市の

地域資源を生かした特徴ある総合戦略にするため、委員の皆さんの意見をいただきたい」と話しました。

会議は、今後3回開催され、市では、本年10月までに戦略をまとめる予定です。



委員に委嘱書を手渡す宮澤市長

協働のまちづくり進捗状況を評価 委員委嘱

2期目となる市協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画策定・評価委員会の第1回会議が6月22日、市役所で行われ、委員に委嘱書が手渡されました。会長には、元市区長会長の内川勝治さん(明科中川手)が互選されました。

委員会では、平成25年度に



あいさつする内川会長

策定した協働の理念等を示した「市協働のまちづくり推進基本方針」と、同方針に基づき具体的な推進体制、進行政管理、評価方法などを示した「市協働のまちづくり推進行動計画」に従い、協働のまちづくりの進み具合を確認し、評価を行います。

この日は、これまでの計画の進捗状況として、協働のまちづ

くり出前講座の受講状況や、市の協働のパートナーである区長会の状況などが報告されました。

今後、委員会は年4回行われ、計画の進捗状況の確認や、個々の事業の評価などを行う予定です。

自治基本条例制定市民ワークショップ 報告書提出

住民自治の理念やルールを定める市自治基本条例(仮称)の制定に向け設置された「市民ワークショップ」(田村浩会長)は7月6日、市役所で宮澤市長へ討議の結果を報告しました。

ワークショップは本年1月から6月にかけて全6回開催。報告書は「市民」「行政」「議会」「地域コミュニティ」「住民投票」「ま

ちづくり推進会議」の6項目で構成され、まちづくりの課題や協働の仕組みなどが提案されています。報告の中で、田村会長は、地域コミュニティの基本は

区とする意見が多かったとし、「市政参画や防犯・防災対策の基盤として、区への加入を勧める内容を条例に盛り込んではどうか」など、意見を述べました。

宮澤市長は「市の発展には市民、地域の協力が欠かせない。条例制定に向け、報告内容を活用していきたい」と話しました。今後、市では来年度制定を目指す条例に向け、市民2000人を対象にまちづくりや協働に関するアンケートを行う予定です。



宮澤市長に報告する田村会長